



那須塩原市にあるもう一つの博物館

田園空間博物館だより なすの大地

第31号

2018年3月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

1 「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・^{にわとこ}接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、『屋根のない博物館』として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

2 サテライトについて

サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って、散策を楽しむことができます。数あるサテライトからいくつか紹介させていただきたいと思います。



○那須疏水蛇尾川サイフォン出口

サイフォン出口は、那須疏水が蛇尾川を横断した所にあり、サイフォンの原理により出口から湧き出しています。かつて使用されていた石積み



みのトンネル出口が残されています。（横接地区・上横林）

○那須疏水探訪の小径

国道400号から那須野が原公園に続く県道沿いを流れる那須疏水幹線に沿って設けられた散策路です。



また、疏水の水を利用した3つの水力発電施設が整備されています。

（西地区・千本松）

○那須疏水第三分水

国道400号から那須野が原公園に続く県道を100mほど行った左手に見える分水口から大田原市まで続く約8.8kmの水路です。第三分水口すぐ下流には、背割分水という独特の分水方式を見ることができます。（西地区・千本松）



○旧谷鉄工所跡のエゾヒガンザクラ



この桜木は、昭和30年頃太夫塚3丁目、旧谷鉄工所跡に自生した山桜で、高さは23mあります。春にはソメイヨシノより一足早く花を咲かせます。（中央地区・太夫塚）

○乃木別邸と静沼



乃木別邸は、陸軍大将乃木まれすけ希典が1892年（明治25年）に自ら設計した建物です（現在の別邸は再建されたものです）。別邸南側には静子夫人にちなんで名づけられた静沼があります。



（大山地区・石林）

《行事紹介》 ○どんど焼き（どんど焼き）



1月に各地区で小正月の行事として行われました。

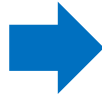
真っ赤に燃え上がる炎に、1年間の無病息災を祈りました。

にわとこ
○接骨木の常夜灯・石仏・石碑

配置が変わりました

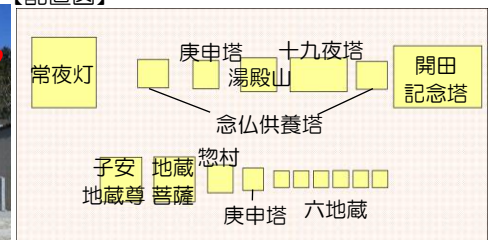


before



after

【配置図】



接骨木公民館前庭に2か所に分かれて配置されていましたが、周辺道路整備に伴い、一か所に集約されました。新しい配置図は上図のとおりです。

常夜灯は、石造の燈籠で、4段の石台の上に置かれています。慶応年間（1865年～）に建てられたことや「子安地蔵尊」、「接骨木女人中」の文字が刻まれています。

なお、サテライトの詳しい場所については、地域ごとのフットパス（巡回ルート）を示したサテライト地域マップまたはサテライトガイドブックをご覧ください。それぞれ下記の公民館で配布しております。是非マップを片手にサテライトを訪れてみてはいかがでしょうか？

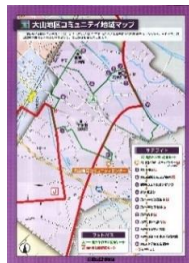
- ・サテライト地域マップは地域別に7種類あり、各公民館でそれぞれ管内のマップを配布しています。

配布場所

西公民館、狩野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、南公民館、運営協議会事務局

※横林・接骨木地区のマップは西那須野支所産業観光建設課（運営協議会事務局）にて配布

サテライト地域マップ



(例) 大山地区



サテライトガイドブック



3 「那須野が原西部田園空間博物館総合案内所」について

那須野が原博物館と建物を共用しています。博物館のインフォメーション、サテライトの写真展示、またタッチパネルのモニターによる案内等を行っています。

※タッチパネル利用の際は、博物館までお申し出ください。

4 「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」について

西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木地区（横接地区コミュニティ）と関係団体を主なメンバーとし、那須野が原西部田園空間博物館の管理・運営や様々な普及活動を行っています。

5 平成29年度の主な協議会の活動

- ・那須野が原公園サンサントワーにて、サテライト写真展開催（4月28日～5月31日）
- ・那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて、サテライト写真展開催（8月9日～16日）
- ・広報「なすの大地」第30号発行（8月18日）
- ・サテライト見学会開催（9月7日）
- ・県庁展示ギャラリーにて、小学生サテライト絵画展開催（9月23日～29日）
- ・西那須野産業文化祭にて、小学生サテライト絵画展開催（10月14日～15日）
- ・なすしおばらまなび博覧会にて、小学生サテライト絵画展開催（11月11日～12日）
- ・第14回那須野が原ウォーク開催（11月19日）
- ・那須野が原博物館エントランスホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月12日～23日）
- ・那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月25日～2月4日）

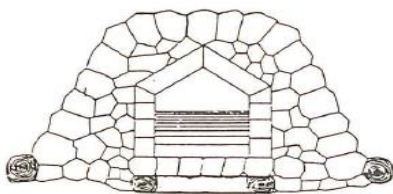
◎特集 「那須疏水」が世界かんがい施設遺産に登録

平成29年10月10日、国際かんがい排水委員会（ICID）メキシコ会議にて、那須野ヶ原用水の中心的役割を担っている日本三大疏水の一つ、「那須疏水施設群」が栃木県内初の世界かんがい施設遺産として登録されました。那須疏水の開削から130有余年を経過した今日、先人達の数々の英知、開削の動機や経過を知る極めて重要な施設の土木的価値が評価された結果です。

原野に覆われていた本地域は約40,000haの扇状地帯で、生活することも困難な不毛な土地でした。土質が浸透性の高い砂礫層や火山灰ロームで構成されているため、表流水や地下水利用が望めず、飲料水すら確保できないことにありました。

1885年には国営直轄事業として、日本人技術者150名による幹線水路や分水路の建設を起こしました。この建設では、高度な技術力が必要であった軟弱地盤下でのトンネル掘削やサイフォンによる河川横断が行われており、トンネル掘削では全区間石積みによる五角形の断面構造とし断面強度を確保。サイフォンも同様の五角形構造で建設されており、補強剤に松ヤニやセメントが使用されています。その後、昭和初期から30年代にかけて国・県による幾多の調査が進められ、昭和42年から着工した国営那須野原総合開発事業によって、那珂川上流部に深山ダムを築造し、赤田・戸田調整池を新設して水源を確保するほか、5つの取水口の新設、移設、改修並びに330kmを超える幹・支線用水路等の更新整備により環境と調和しつつ豊かな大地を創生しました。当初40haだったかんがい面積は、現在2,600haへと拡大しており、首都圏農業の一大産地として食料生産・農業農村などの地域経済発展に大きく貢献し、今もその役割を担っています。

寄稿：那須野ヶ原土地改良区連合 星野 恵美子 記



サイホン断面図

(那須野ヶ原土地改良区連合提供)



旧西岩崎取水口

(那須野ヶ原土地改良区連合提供)



赤田調整池

○「津室川湧水地」木道の補修

12月10日（日）に、狩野地区コミュニティの20数名の方々のご協力をいただき実施しました。当日は朝早くから集まっていたいただき厳しい寒さの中、延長約110mの木道・柵を、参加者を3班に分け汚れ落とし・防腐剤の塗布等を実施しました。慣れない作業で苦勞しましたが、見違えるようにきれいになりましたのでぜひお越しください。

この施設のように木材を多用している箇所は整備後10年以上が経過しており老朽化が目立つため、今後も補修作業等により維持を行ってまいります。

最後に今回ご協力をいただいた狩野地区コミュニティの皆様、大変ありがとうございました。



木肌がむき出しになった木道



作業風景（皆さん一生懸命です）



よみがえった木道

6 第8回小学生サテライト絵画展

①優秀作品の紹介

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校6校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、全184点(西16点、三島3点、槻沢87点、東29点、大山8点、南32点、横林9点)の応募作品の中から、**優秀作品15点**(最優秀賞1点・優秀賞14点)が決定しました。

5会場で絵画展を開催し、対象エリア内のコミュニティにおいても、公民館等で絵画が展示されました。

最優秀賞



「ぼっぼ通り 乃木神社前」
大山小学校6年 近野 創太さん

優秀賞

●大山小学校(大山地区)

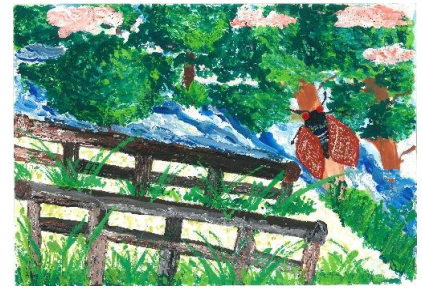


「乃木神社」
5年 仙波 瑛茉さん

●槻沢小学校(狩野地区)



「遅沢の板倉」
6年 小林 瑠那さん



「津室川湧水地」
6年 渡邊 妃花さん

●横林小学校(横接地区)



「接骨木の常夜燈」
5年 高橋 美楓さん

●三島小学校(三島地区)



「烏森神社」
6年 守矢 愛梨さん

●西小学校(西地区)



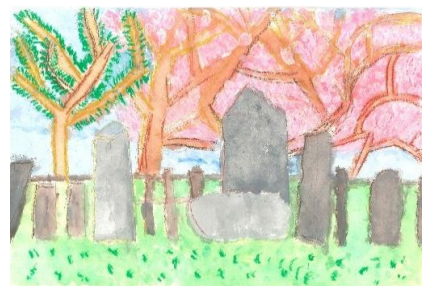
「千本松牧場」
5年 大類 朝太朗さん

●西小学校(西地区)

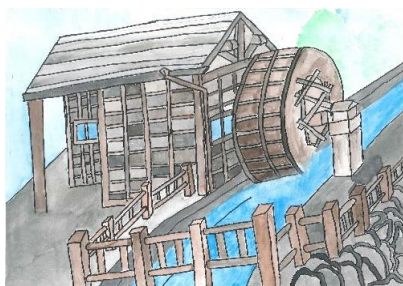


「雲照寺石仏・広大な森林」
6年 大類 春花さん

●南小学校(南地区)



「親王台」
5年 瀬山 桜さん



「那須疏水水車」
6年 高村 悠史さん

●南小学校（南地区）



「金刀比羅神社」
6年 梅原 彩奈さん

●東小学校（中央地区）



「支所庁舎時計塔」
6年 佐藤 鳳祐さん



「愛宕神社」
6年 中野 真璃采さん

●東小学校（中央地区）



「一本杉と稲荷神社」
6年 半澤 実咲さん



「支所庁舎時計塔と「望」の像」
5年 阿部 匠真さん

②展覧会会場および入賞者表彰式の開催

本年度は9月に栃木県庁展望ロビー、10月に西那須野産業文化祭、11月になすしおばらまなび博覧会、1月中旬に那須野が原博物館エントランスホール、1月下旬より那須野が原公園緑の相談所展示ホールと5つの会場で展覧会を開催しました。

1月20日（土）に田園空間博物館総合案内所（那須野が原博物館）の研修室において、入賞者の児童と保護者を招き表彰式を開催し、久保会長が賞状と副賞を授与しました。



西那須野産業文化祭会場



なすしおばらまなび博覧会会場



那須野が原公園 緑の相談所



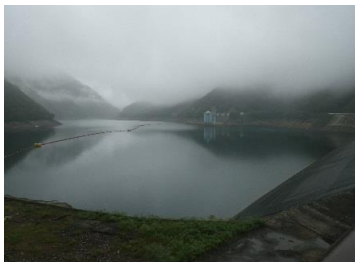
那須野が原博物館会場

7 サテライト見学会

平成29年度の「サテライト見学会」を9月7日（木）に30名の参加者により下記のルートで開催しました。

「深山ダム」⇒「沼原発電所」⇒「赤田調整池」⇒「那須疏水探訪の小径」⇒「那須開墾社第二農場跡、那須開墾社事務所堀」⇒「諏訪神社、二区町の馬頭観音」⇒「ホテルの里」⇒「開拓苦難の石塚」⇒「乃木神社、乃木清水」⇒「支所庁舎時計塔」

普段見られない場所に入る事も出来、参加者からは好評でした。



霧がかかった深山ダム



沼原発電所で施設の説明を受ける



那須疏水探訪の小径で解説を受ける



乃木清水で解説を受ける

8 第14回那須野が原ウォーク

平成29年度の「那須野が原ウォーク」が11月19日（日）に104名の参加者により行われました。那須野が原ウォークは、那須野が原公園や千本松牧場周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、毎年秋に開催しています。天候は雲が多めの日でした。

今年のコースは、那須野が原公園を出発し、初めに千本松牧場の敷地内にある松方別邸で解説を受け散策路から見学しました。続いて、同牧場内の放牧場を回りました。今回初めてのコースでしたが、きれいな紅葉を見ることができました。その後は那須疏水探訪の小径をたどり、途中の水車を利用した発電施設等を那須野ヶ原土地改良区連合の方と東京電力ホールディングス株式会社の方の解説を受けながら見学しました。那須疏水探訪の小径を抜けると那須野ヶ原土地改良区連合の事務所に向かいました。そこで、職員の方から解説を受けたあと赤田調整池を見学しました。その後はサンスタワーに登り、那須野ヶ原を一望してゴールしました。ゴールの後の抽選会では、那須野が原博物館招待券や公園プール招待券、お米などが当たりみんな大喜びでした。

平成30年度も市広報などで参加者を募集する予定です。きれいな紅葉、那須疏水の流れ、雄大な山々を眺めながらウォーキングを楽しめますので、ぜひご参加ください。



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108（事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、希望される方は各公民館までお問い合わせください。